

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものによきわがふるさとに生かされよう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は憩いのまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあひましょう。

奈良は清静で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびのびなまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよきまちづくりをしましょう。

奈良市民だより

No. 396

市民のうごき

7月1日現在(前月比増)
人口 278,903人(1,034)
男 135,268 (530)
女 143,635 (504)
世帯数 88,302 (396)



鍵田市長 と記者と会見

「人口が増え、ゴミの量も増加していますが、どのような対策をお考えですか」。

市内小学校六年生の代表八人が七月八日奈良市役所で、鍵田市長にインタビューしました。

これは奈良市の次代を背負う子どもたちに、市の現在の姿やこれからの計画を知ってもらい、童心に市政のイメージを持ってもらおうとのねらいで開かれた。豆記者会見です。

豆記者「たははいずれも市政についてよく勉強してお

「足の太い、早起きで親切な子に」
よく勉強、ハキハキした童心の質問

「植樹百万本運動」のすすみぐあいや、人口増加に伴う水源の確保やゴミ処理対策、友好・姉妹都市関係など、それぞれ子どもたちの目から見たこと、また感じたことを熱心に質問、鍵田市長は一間

矢野貴裕君・松村容子さん(登美ヶ丘小)▽遠藤英俊君・野田仁美さん(西大寺北小)▽中野仁君・奥本裕美さん(大宮小)▽森田昌宏君・下野美子さん(大柳生小)

なおこの豆記者会見の内容は、近く(学校の夏休み中)発行予定している「子どもだより」に抄録することになっています。

「市長さんは私たち小学生に、どのような子どもであってほしいと思われませんか」の質問には「私が常々言っているように、足の太い子どもに、そして早起きし、他人のためにつくすりっぱな日本人になってほしい」と子ども達への希望を述べました。

この日出席した「豆記者」はつぎのみなさん。(順不同)

7月14日を「防災の日」に

過去におこった地震記録からみて、大地震は周期的にやってくるといわれています。

奈良周辺の大きな地震をあげてみると別表(第二面掲載)のとおりですが、奈良に大被害をもたらした嘉永七年の大地震が、今日再び私たちを襲ってくる可能性は十分あると覚悟しておかねばなりません。

大地震は広い地域にさまた

大地震に備え 万全の対策を

総合訓練に2,700人

全国では九月一日(関東大震災のあった日)を「防災の日」と定めていますが、奈良市では、ことしから七月十四日を奈良市の「防災の日」と定め、大地震に備えて日ごろの心構えや、防災準備を固める日としました。

百二十四年前の嘉永七年六月十四日(旧暦)に、奈良に大地震があり、死傷者が多数出てまわ全体が壊滅的な被害を受けました。奈良千二百年の歴史の中で、いちばん大きな震災です。その日にちなんで奈良市の「防災の日」と定めたものです。

日本は世界有数の地震国です。それだけに私どもは地震に対処する準備を平素からしておくことが大切です。

議長加藤氏 副議長岡本氏

六月二十日開会の奈良市議会六月定例会は、同二十六日加藤利和議長の辞職願の提出を受けて六月二十七日の本会議で議長選挙を行ない、新議長に加藤利和議員を選出。同じく二十九日に辞職願提出の法末春副議長の後任選挙は同日開かれた本会議で、新副議長に岡本栄一議員が選ばれました。

就任。今回で五回目。
明治四十二年三月十五日生まれ。六十九歳。現住所は奈良市佐保川南町。



岡本栄一氏

天理 門学校 卒業。
昭和四十六年

就任ごあいさつ

奈良市議会議長 加藤利和

加藤利和氏



吉野林 卒業。
昭和十八年

五月市議選以来四期目。市議会の総務財政委員長などを歴任。同四十二年七月副議長、同四十七年六月、同四十九年六月、同五十二年六月、同五十二年六月の四回議長に

盛衰のみぎり、市民皆さまにはいよいよご清祥のこととお喜び申し上げます。

私こと、このたびの奈良市議会六月定例会において市議会議長の要職に推挙を受け、引き続きその重責をになうこととなりました。

地方自治法施行以来三十余年を経た今日、地方自治の現状は依然として財政的不安定要素を払拭されておらず、今後さらに高福祉社

地方自治のルールに従い、議員諸兄とともにその民主的運営に努め、議会と執行部とがそれぞれの権限を尊重し合い、協力して市民皆さまの負託にこたえ、もってりっぱな奈良市政を築き上げたいと念願いたしております。

皆様方におかれましては、何とぞ一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

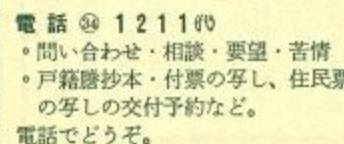
この程引き続き本市議会議長に就任するに当たり、決意の一端を申し上げます。ごあいさついたします。

＝1日2円であなたをまもる＝
北和都 交通災害共済組合へ
あなたも、ぜひどうぞ！

◆会費
1年会員＝730円(中学生以下 500円)
3年会員＝2,000円(中学生以下1,400円)
◆見舞金 5,000円～1,000,000円
申し込みは市福祉第1課または出張所・連絡所へ

業所、近鉄など各機関から二千七百人が参加し、実戦さながらの各種訓練をみっちり実施しました。

訓練は避難、救出、救護、消火、水防、復旧、炊き出し、給水、広報のほか、電車脱線想定した負傷者救出訓練も行われました。詳細は次号に掲載



訪問販売などでだ
まされないように

般参加者をつぎのように募集します。

参加者Ⅱ 小学校四年生～六年生三十人（先着順）▽申し込みⅡ 往復はがきに住所・氏名・電話番号・学年を子ども自身で書き、保護者に見せてから、市青年ボランティア協会事務局（北新町六一一、市教育委員会社会教育課内、☎六一一一）へ。受け付けは七月二十五日から（それまでの消印のあるはがきは無効）。

**ちびっこ
キャンプ**
申し込み
20日から

来月5・6日 鳴川キャンプ場で25組

親子がともにキャンプの基礎知識を勉強したり、キャンプファイアー、オリエンテーリングを実際にやってみる「親と子のキャンプ」が、市教育委員会と市野外活動協会の共催で今年も鳴川キャンプ場でつぎのように開かれます。

電話④九一二三番

軟式テニス（初心者）教室
八月八日から毎火曜日午前十
時と正午、十回で終了。市内
在住の成人二十五人。

電話五九三一號

母と子の手工教室 七月二
十七日から毎木曜日午前九時
午後零時半、六回で終了。
小学校三、六年生までの母と
子二十組。材料費は自己負担。
申し込みは往復ハガキに住

補導委員三十九人委嘱

深刻化する少年非行問題に
対処し、少年の非行防止と健
全育成をはかるため、市教育
委員会ではこの程本年度の市
少年輔導センターの輔導委員
三百十九人を委嘱しました。

市内十三の中学校区ごとに
この輔導委員を中心に輔導協
議会を結成して、地域ぐるみ
の少年輔導活動を展開しよう
とするもので、最初の総会で
は「愛の手で築く非行のない

市教育委員会で募集

市教育委員会では文化の日（十一月三日）を中心にして第二十四回奈良市教育週間を実施しますが、これにちなんで、家庭教育のにない手であるお母さん方からつづぎのように「母のつづる教育作文」を募集します。たくましく明るい子どもづくりに関する貴重なご意見や体験記録を寄せてください。

内容▽教育に関する母親の生活記録で未発表のもの
文題は自由▽用紙▽四百字づつ原稿用紙五枚以内で、表紙に住所・氏名・年齢と子どもさんの学校・年名を明記▽提出先▽北新町六〇―一、市教育委員会指導課
あて▽締め切り▽九月六日
▽その他▽入賞者は表彰
応募作品は返却しません。

三

深刻化する少年非行問題に
対処し、少年の非行防止と健
全育成を図る。このため、市
内十三の中学校区ごとに
この補導委員を中心に補導協
会を組織する。市教委は、

補導委員三十九人委嘱

深刻化する少年非行問題に
対処し、少年の非行防止と健
全育成をはかるため、市教育
委員会ではこの程本年度の市
少年輔導センターの輔導委員
三百十九人を委嘱しました。

市内十三の中学校区ごとに
この輔導委員を中心に輔導協
議会を結成して、地域ぐるみ
の少年輔導活動を展開しよう
とするもので、最初の総会で
は「愛の手で築く非行のない

固定資産税

国民健康保険料（第二期分）
下水道事業受益者負担金（第一期分）
の納期限です

申込み、31日

歯 市役所長の挨拶で、むし歯予防のフッ素塗布を行います。
今回は昭和五十年四月二日、同年九月三十日生まれのお幼児で、七月三十一日までにつぎの要領で申し込んでください。

留守中の火事が心配になります
出かけるときは火の元をたしかめ、隣りへ声をかけましょう。

▽8月10日(木) 辰市

留守中の火事が
心配になります
出かけるときは火の元
をたしかめ、隣りへ声
をかけましょう。

号
外

奈良市民だより

差別をなくす月間
特集

市民ぐるみで部落差別をなくそう

年ごとに熱気を加える「差別をなくす市民集会」



7月は差別をなくす月間

心の差別をなくす

奈良市長

鍵田 忠三郎



市民ぐるみで同和問題を解決していくという意義深い「差別をなくす月間」にあたり、ごあいさつ申し上げます。

奈良市の同和問題解決のため、ご努力、ご協力をいただいていることに心から御礼申し上げる次第です。

私は、本年度の市政の基本方針に、真に幸甚なる社会をつくるため「開拓精神をもって正しい人の道を盛んにする新平城京のまちづくり」を掲げ、人の道を盛んにすること、すなわち人権を尊重することを市政の柱とさせていたものであります。部落差別は、人の道に反することであり、許すべからざるものであると存じています。

奈良市といたしましても、今日まで同和問題の完全解決を図るため鋭意人権意識の高揚を図るとともに、この問題や同和对策事業についての理解と協力が得られるよう力を注いでまいりましたが、未だ十分その成果をあげたとは言えないことは誠に遺憾であります。

すなわち、人権意識や住民の権利要求が高まるなかで、重大な人権侵害が未だにみられるその背景には

「部落地名総鑑」という悪質な図書が密かに発行され密かに購入されていたという事件にもみられるように「差別は悪であり、人の道に反する行為である」といったことをたてまえでは理解していても、表面的に流れ、行動や心が伴っていないことを痛感するものであります。

今後はさらに同和問題のもつ歴史的・社会的な背景のもとにはあるが、基本的な人権の尊重をしっかりとふまえ、「生きがい」と「働きがい」のある差別のない社会や仕事といったことが達成されるよう、花と緑いっぱいにする運動など、きめこまかな仕事も引き続き推進するとともに、生活環境の整備・改善、あるいは教育の振興、同和問題に対する市民の正しい理解と認識を高めることに、教育と運動相対し、積極的に取り組んでまいりたい所存であります。

同和对策事業特別措置法施行以来、これが対策事業のより適正かつ効果的な推進に努力してまいりましたが、残念ながら最終の年にあたり、なお期間内に事業の達成を見なかつたことに反省を深め、同和問題の完全解決をはかるため、さらに同法の内容充実も図る強化延長を積極的に推進する決意でございます。

私は本年度の「差別をなくす月間」に当たって自らを正し、同和問題の早期解決に市民の皆さまとともに取り組む覚悟を新たにいたしているところでござい

ます。市民の皆さま方も、どうぞいっそうのご理解とご協力を賜わりまして、この問題を奈良市が全国に先がけて一日も早く解決するようお互いに努力することを期しましてごあいさついたします。

差別の完全解消へ

奈良市議会議員

加藤 利和



「差別をなくす月間」にあたり、奈良市議会を代表してごあいさつを申し上げます。

同和問題は、今さら申し上げるまでもなく、近代社会の原理として何人にも保障されている市民的権利である自由と平等とが、現実には保障されていないという深刻かつ重大な社会問題であり、この問題解決が、わが国社会の真の民主化を達成するための重要な課題であります。

こうした基本姿勢に立脚し、同和問題を正しく理解

し、自らの課題とするため、市民集会をはじめ各種の行事が行なわれていることと信ずるのであります。

しかしながら、今日なおあるべからざる差別により、何人にも保障されている市民的権利が完全に保障されておらないことは非常に重大な社会問題であり、一刻も早く解決を要する重要な課題で、私達市政に参画するものももちろんのこと、市民一人ひとりが同和問題の早期解決に取り組むことが急務であります。

ご承知のとおり、国におきましても同和对策事業特別措置法の強化とその期限の延長に対して積極的に取り組んでおりますことは、誠に喜ばしい限りであります。

どうか、市民集会をはじめ各種の行事を通じて、この問題の重要性を十分認識され、大きな市民運動として展開されんことを願うと同時に、あるべからざる差別が一日も早く解消されるよう、市民皆さま方とともに手を取り最善の努力を尽くすことをお願い申し上げます。ごあいさついたします。

けとめ、日々の生活の上に具現していかねばなりません。

差別への怒り

人権学習をみんなのものにするために――
ここに掲げた人権作文・ポスターは、平素各学校で人権学習を真剣に推し進めていって生じたものです。
児童・生徒ひとりひとりが差別の現実を目を向け、社会の不合理、矛盾を指摘し、解放の意欲と実践力をつける学習を集約して編集されたものの中から選んだものです。

差別のために苦 しんでいる人々

中学 二年生

私は、部落差別は身近なものだと感じるようになったのですが、部落差別は現実生きています。

私の叔父の友達に、今、部落差別という問題で悩んでいるAさんがいます。今まで差別を受け、人にののしられ、白い目で見られたAさんの話を聞いていて、私は、とても感動しました。また、私も、差別をしていないひとりでないかと、とても恥ずかしくなりました。

すると、Aさんの心に自分の生まれたB町という地名が、大きくなってきたので、そのころは、今と比較しても、とても差別が露骨だったのです。はじめての面接もひやひやしながら受けたのです。そして、そこに就職し、そこで働いているとき、とても親切にしてくれていた先輩から「どこからきたんや」と聞かれたとき、「B町なんです」と勇気を出して答えたときから、その先輩のAさんを見る目が大変冷たくなったのです。

そして、そこで盗難事件があったとき、最初に疑われたのがAさんでした。Aさんには、今、二歳の女の子と一歳の男の子がいます。

誰の涙も
みたくない……



みんな同じ人間だ!

差別を
なくそう!

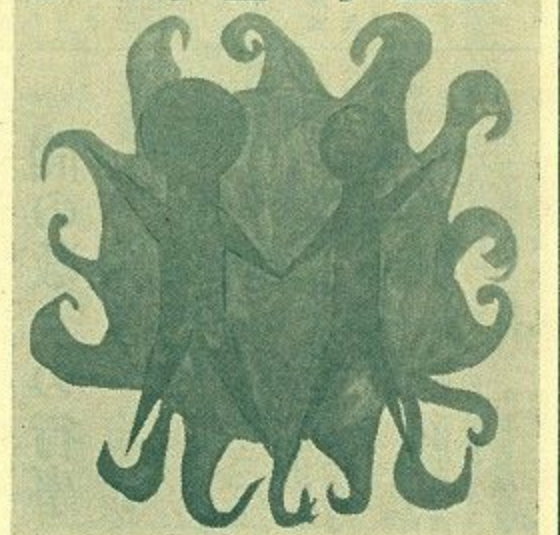


Aさんでした。「おまえ、警察へは言わへんから早く返してくれ」「やっぱりあつちの奴は恐ろしいなあ」。そして結局なにもしていないのに泥棒あつかいをされた上に、会社まで首になりました。そして今度は、会社ではうまくいかないと思って、日雇い人夫になって働いていました。それは部落差別によって就職差別を受け、不安定な職につかざるを得なかったのです。

す。それは、そこで生まれた人が生まれる以前から背負ってきた差別という重い持物です。なぜそんな差別を受けなければならぬのでしょうか。生まれが悪いなどと言えぬのです。そのために人間性までが悪いとなぜ言えるのでしょうか。そんな差別を受けながらも懸命に生きてきた人こそ強い人間

Aさんはいつも「もう二度と私と同じような道を歩ませたくない」と語りながら、差別がなくならないことを願っています。Aさんの心には、子供を幸わせにしたいという思いが、自分だけの力ではどうすることも出来ない。子供が自分と同じ思いをするとうわかっていても、何ひとつと除いてやる事ができない寂しさ、やるせなさであらわれていました。私にはその気持ちがはつきり伝わってきます。本当にこれだけのいか、私はつくづく感じました。今までそれ程考えなかった部落差別が、こんなに人の心を傷つけているので

人権尊重



なので。差別がその人達の人生を左右してしまうことはまちがっています。差別なんてなくなってしまうばいのです。いえ、差別をなくしていかなければならないのです。差別のために

どれほど多くの人々が苦しんでいるか、差別がどんなに恐ろしいものかを知らなければなりません。誰もが胸を張って自分の生きた所を言えるようにならないければならないのです。就職だ

母から学ぶ

小学・高学年生

私の母は身体障害者です。小さいころ小児マヒにかかり、右手が自由に使えません。左うでに比べて短い右うで。小さな右うで。でも、私をこんなにまで大きく育ててくれた手でもあるのです。

小さな赤ん坊の私を、だきだくもだいたことがないのです。手のかわりに足を使ってオシメをかえてくれたそうです。じやがいもの皮だつて、足にじやがいものをはさんで左手でむきます。自転車にも乗ります。母は何事にも一生けん命です。だから、私は、ほかの友だちと同じ生活をする事ができます。それは、すべて母の努力のおかげです。母は母と同じ身体障害者の人とうまく話をします。この間、足の悪い人が、母たちにこ

「あの人、わたしの足じろじろ見やはんねん。腹立つからに

この前、母の手を、さも気持ち悪そうに見た人がいました。母は気にしていないように見えました。でも、私はその時「おかあさんが悪いんじゃない。病気が悪いんだ。そんな目で見ないで!」と心の中でさげすみながら、その人をにらみつけまし

って、結婚だって堂々とできないければならないのです。Aさん自身も自分と家族の幸せのためにも、差別とたたかい解放をめざす運動にとりくんできたいと思っていますが、私も、これからはAさんだけではなく、このような部落差別に苦しみ、戦っている人々のことをよく理解し、差別をなくするために努力していかなければならないと決意しています。大きなことは出来なくても、先ず身近なところからやってみなければいけないのです。たとえば私の学校、学級での「なまづくり」です。それが皆の幸福の手でもう一度差別ということについて、みんなが考えることが大切だと思います。学級でも、もっともつと積極的に取り組みをつづけたいものです。

「床について仕事もできない人もいます。その人は生きようと必死でがんばっているんだ。おかあさんもその人たちのようにがんばっているんじゃないか」と、私をばねましてくれました。そんな母も、子どものころは学校でいじめられ、お弁当の時、お弁当箱を持つことができないので、直接口につけて食べると「牛、牛!!」とばかりにされ、学校に行くのがいやだと、泣いたこともあるそうです。今でも、そのことを話す時の母の声は、差別への怒りにふるえます。

負けずぎらいの母は、まわりの人からの偏見をのりこえようと、明るさをうしなわない毎日です。今、母は、店で商売をしながら、近所の人からしたわれています。わたしは、障害に立ち向かって必死に生きています。この母の姿を見て、わたし自身、ますます強く生きて行かねばならないと考えています。

部落の完全解放へ

【「差別をなくす月間」に各隣保館での数々の行事】



差別をなくす町民集会



学習の意欲を高める補充学級



生活を考える婦人のつどい



集団の遊びを通じて仲間づくりをはかる解放子ども会



子ども会ハイキングのつどい



差別の歴史と実態をテーマにした絵画パネル展

完全解放への決意も固く

奈良で部落解放研究第十二回全国集会

同和对策事業特別措置法の強化・延長、狭山再審請求、地名総鑑料額、国際人権規約批准等重要問題の早期決着を目的とし、これが運動の方向と課題を明らかにするため、部落解放研究第十二回全国集会

を記して私たち奈良市民の今後の同和問題に対する道しるべに資することにする。

× × × × ×
(1)同和問題の早期完全解決をねがって、全国から参加された志を同じくする皆さん方に、奈良市長として心から歓迎の辞をおくり、日ごろの奮闘に對し、衷心より敬意を表する。

(2)日本文化発祥の地奈良市において全国集会が開かれることは、極めて意義深いものがある。

(3)奈良の西光万吉氏等を中心として五十七年前の同和問題の完全解決は近代社会の原理であり、わが国社会の真の民主化を達成するための重要な課題である。

(4)しかし今なお悪質な差別現象が跡を絶たず、部落差別の実態がいかに根深いものであるかを痛感し、この根深い歴史的悪弊をどうしても打破せねばならぬと決意を強くしている。

(5)同和对策事業特別措置法の強化・延長については、本市議会においても決議し、強力に推進を進めている。今後ともなおいっそう根本的に努力せねばならぬと考えている。

(6)この研究集会の討議を通して「一日も早い完全解放」の道すじを明らかにし、実り多い集会であることを願う。

奈良市としても同和行政を市政の重要な柱として差別のない、人の道を盛んにするはんまもんの行政を推進し進める決意である。

× × × × ×
私たちは奈良市民として、



正十一年全国水平社が発足してから五十七年、その間幾多の困難に打ち勝ち今日まで同和問題解決に向かって、全国

市長の考えを更にかみしめてみたいと思います。

(3)において市長は部落問題解決のため奈良県西光万吉氏等を中心として五十七年前全国水平社が創立されたことに思いをはせ、奈良は文化発祥の地であると同時に、部落解放運動発祥の地であるといっていると思います。

ついで奈良市は同和行政を市政の重要な柱として人の道を盛んにする、はんまもんの行政を推進する決意であることとを力強くのべ、あいさつを終わっています。

はんまもんの行政とはどういうことなのか、なかなかむずかしいと思いますが、要は人の道を盛んにする行政であり、人の道とは相手の立場に立って真心をつくすこと、自他同一の境地に到達する祈りの心であります。

ほんまもんの行政を目ざし市政の重要な柱として同和問題の解決に当たるといふ市長の心を心として、私も、全市民一丸となって同和問題に取り組み決意を新たにしなければならぬと考えます。

写真真は市中央体育館で開かれた部落解放研究第十二回全国集会

日〓古市〓二十七日〓西之阪

差別をなくす月間の数々の行事

既報のとおり七月は「差別をなくす月間」です。

この月間にちなんで、市では部落差別をなくすための市民運動や各種行事を行なっています。月間後半の行事のおもなものはつぎのとおりです。

方法務局の職員が相談に応じをなくす月間」です。

〓差別をなくす市民集会 十七日(月)午後一時〓四時半、市役所正庁で。大阪市立大学教授村越末男氏の記念講演と映画「若竹よ雪をはじけ」

〓人権相談 二十一日〓市役所相談室、古市・横井・東之阪・香南各隣保館〓二十八日〓市役所相談室。

いずれも午前九時〓午後四時。人権擁護委員と奈良地

〓差別をなくす町民集会 市内の各隣保館で開き講演会、映画会を催します。

十七日〓横井〓十八日〓梅園〓二十日〓香中〓二十二

〓隣保館・公民館行事 学習会、懇談会、研修会、健康相談会、野外学習会、パネル展、町内清掃など。

〓職員研修 係長職以下の市職員全員約二百二十人と非常勤職員約百五十人を対象に同和問題研修を行なうほか、市立学校・園の新任教員を対象に同和教育研修会を開く。

〓差別をなくすパネル展 差別の歴史と実態を描いたパネルを十七日(月)から二十二日(土)まで市役所の市民ホールで展示します。このほか各隣保館・公民館でも月間中順回展示します。